

No. 9-3

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 09 - 3

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		2		作成日		30年 6月 26日				
事務事業名		健康づくり推進事業費						シート作成部署						
総合計画上の位置付け	基本施策	2 人にやさしいまち						課名	健康づくり課		係名			
		2-1 健康に暮らすまちをつくる						シート作成者						
	施策	2-1-1 自らの健康づくりの推進						予算費目	会計		一般			
									款		4			
主要施策	①健康づくり意識の高揚と主体的活動の促進						項		1					
	⑦食育の推進						目		3					
個別計画名														
住民との関わり		特になし												
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）									
	住民				健康教育、保健指導を実施し、住民の健康水準の向上を図り、豊かな生活を送ることができるように支援する。									
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		健康教育、保健指導を実施し、住民の健康水準の向上を図り、自らが健康づくりを実践できるよう、一人ひとりの健康の課題や状態が確認できる内容を取り入れた事業を実施する。												
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度		～		平成 年度		(年間)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
根拠法令・要綱等		健康増進法、健康日本21、ヘルシーピープルみえ21、食育基本法、自殺対策基本法												
		平成28年度（決算）			平成29年度（決算）			平成30年度（予算）						
全体事業費（千円）A+B		0			7,239			7,660						
財源内訳	国庫支出金													
	県支出金					501			717					
	地方債													
	その他特定財源													
一般財源					6,738			6,943						
直接事業費（千円）A					7,239			3,238						
人件費（千円）B		0			0			4,422						
内訳	一般職員（人・千円）		人		0		人		0		0.67 人		4,422	
	臨時職員（人・千円）		人		0		人		0		0.51 人		0	
成果指標	成果指標名				単位		29年度		30年度		31年度			
							目標		実績		(目標)		(目標)	
	① 各健康講座参加者数		人		150		232		200		200			
	② 各健康講座参加者満足度		%		90		72.5		90		90			
③														
説明		健康づくり課が主催する生活習慣病予防教室、歯周病予防教室、こころの健康講座等各健康講座の参加者数を指標とした。成果指標を参加者数とすると、教室内容が対象者を限定しない広範な内容となってしまうため、参加者の満足度も成果指標とした。												

事業名		健康づくり推進事業費		シート作成課		健康づくり課	
一次評価者		健康づくり課長		二次評価者		福祉部長	
評価項目の説明	チェック項目			一次	二次	一次の評価又は説明	
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。			<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	住民自らの健康づくりの動機づけとして必要です。なお、市町村は、健康増進法第17条において生活習慣相談等業務の実施を行うことが規定されています。
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。			<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	生活習慣病や歯周病の予防及びこころの健康づくりについて有効性がみられます。
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。			<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	事業後のアンケート調査によると、約7割の参加者が講座内容に満足されています。
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	健康感を持つ人を増やすため、民間団体と協働する等効率的に事業に取り組んでいく必要があります。
本事務事業の実施適切性の説明							
住民の健康づくりに寄与することにより、充実した人生を過ごしていただくことはもとより、これからは増嵩する医療費や介護認定者の削減に繋がる事業を推進していく必要があります。							
一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		3	3	2	4	(8) B A (7) (6) D C (2) (5) (6) (8)	
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大	
今後の改革・改善目標	健康づくりの意識を高め、町民が主体的に取り組めるよう啓発を積極的に行う必要があります。保健師職が地域に出向き、町民と一緒に健康について考える機会を設け、健康づくりの意識向上を図る必要があります。						
二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		3	3	2	4	(8) B A (7) (6) D C (2) (5) (6) (8)	
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大	
コメント	個人の自覚と努力による行動変容という従来型の健康づくりを続ける限り、健康の格差は広がる一方です。本人の努力だけでは困難な側面もあるため、そこに暮らすだけで知らず知らず健康になれる社会の創出といったソーシャルデザインが必要です。						
二次評価に対する課の考え方							
参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1 現在の手段を継続する			